

公共交通実証実験（タクシー利用補助）実施計画

1 実証実験の目的

- (1) 公共交通空白地域における住民の移動支援と生活の質の向上
- (2) JR五日市線等既存の公共交通の利用促進に向けたフィーダー交通としての有効性の検証
- (3) タクシー利用補助の有効性と課題の検証

2 実験内容

- (1) 実施期間（予定）
令和元年8月1日から令和2年1月31日まで
- (2) 対象者
あきる野市深沢に住所を有する65歳以上の方
（基準日：令和元年7月1日）
- (3) 補助内容
対象者1人につき500円のタクシー利用補助券（以下「補助券」と言う。）24枚を配付
- (4) 利用方法
乗車時に補助券を提示し、使用できることを確認の上、乗車する。
料金支払時に補助券を乗務員に渡し、不足分を現金等で支払う。
- (5) 利用条件
 - ア 深沢区域を出発地又は到着地とする利用に限る。
 - イ 使用枚数は1回の乗車につき対象者1人当たり1枚
 - ウ 補助券の利用は対象者本人に限る。
 - エ 補助券に対する釣銭は出さない。
 - オ 実証実験に関するアンケート調査へ協力する。
- (6) 利用できるタクシー会社
秋川交通（株）、（株）リーガルマインド、横川観光（株）、京王自動車（株）及び大洋自動車交通（株）
- (7) 調査項目（タクシー事業者による）
利用年月日、乗車時間、利用料金、出発地、到着地、乗車人数

3 実験の周知

市ホームページ、自治会の回覧等で周知を図る。あわせて、説明会を開催し、利用方法の周知、積極的な利用とアンケート調査への協力の呼び掛けを行うとともに、公共交通の利用促進に向けた意識啓発に努める。

4 利用実態の把握

(1) 利用状況に関する情報の整理

実証実験終了後、回収した補助券を基に利用状況を分析し、補助金額の妥当性、目的地への足として機能しているかなど、タクシー利用補助の有効性と課題を検証する。

(2) 利用者の意見聴取

利用者へのアンケート調査により、利用目的、満足度、要望等を把握し、移動支援、公共交通利用促進、生活の質の向上等に係る効果と課題を検証する。